

## 英語の勉強のやり方

語学を学ぶ時期は0~6歳の絶対音感期がベストだと言われています。人間の脳には、語学をマスターできる6つのシナプス（血管のようなもの）があり、それは、小さい頃は大きく開いていて、その中に6つの言語を同時に入れ込むことができるそうです。この言語を覚えるシナプスは、それまでにインプットしていなければ、7歳頃から収縮し始めるので、この後、ネイティブ的な発音のできる言葉をマスターするためには、相当な努力が必要になります。

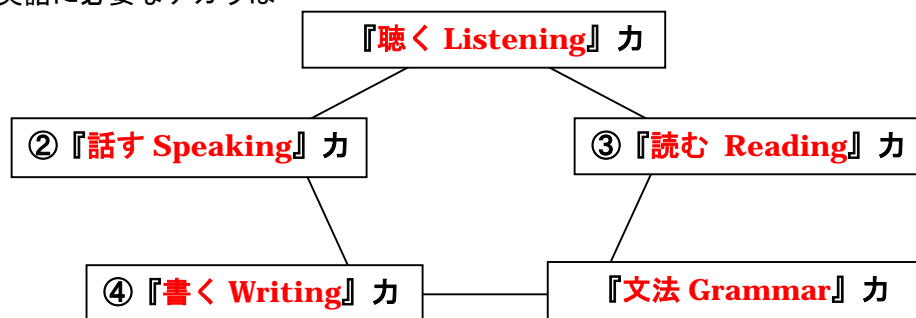
ヨーロッパ等では、英語はもちろん、ドイツ語、スペイン語、フランス語、その他色々な言語を話す人たちが身の回りにたくさんいるので、小さい頃からそれらの言語を聴く環境にあります。だから数カ国語をマスターしている人が多いのです。

皆さんは、これから本格的に英語の勉強をスタートさせます。「ベストの時期は過ぎてしまったから無理だ…」などと考えずに、「これからピアノのお稽古を始めるんだ」という風に考え、英語の勉強もマスターしていきましょう。小さい頃（0~6歳の絶対音感期）に英会話を毎日10分ずつでもやった人は、中学の教科書レベルに終わらず、英単語の語彙数を増やし、文法力をつけていってください。

幼児期にほとんどやらなかった人は、これからお話しする「英語の勉強法」をぜひ身につけてください。これから生きていく（お仕事していく）ために皆さんに必要なことは、「パソコンが使えること」、「英会話ができること」だと思います。英会話ができ、外国の情報を取り入れ、世界中の人とコミュニケーションをとることで、皆さんは、地球と私たちが住む日本のことを考えて行動することができるようになると思います。

*Talk to the world! Think globally, act locally!*

英語に必要なチカラは



の5つが大切です。特に将来、英語で会話ができて、相手と上手にコミュニケーションをとれるようになるためには、まず、良く聴いて、はんぷくおんどく反復音読することが大事です。

**法則 67 : 英語をマスターするためには、中1、中2、中3の教科書3冊を音読・暗唱せよ！**

**法則 68 : 英語の上達順序は、**

**①良く聴く ②反復音読する 書く**

①②③で、言葉を記憶のシナプスにインプットせよ！